

『花をいける。時代を紡ぐ。』

よさこい高知文化祭2026 いけばな「昔と今」特集インタビュー

今回のよさこい高知文化祭2026における『いけばな「昔と今」』のテーマや、全体のコンセプトを教えてください。

いけばな「昔と今」では、古くから受け継がれてきた華道の精神と、現代の感性による新しい表現の両方を感じていただきたいと考えています。

会場では、作品展示に加え、ライブパフォーマンスやいけばなの歴史に関する講演も予定しており、見る・感じる・学ぶというさまざまな形で、いけばなの魅力に触れていただける内容にしたいと思っています。

今回の作品の中で高知県の歴史や自然、特色を意識して表現される部分はありますか？

高知県を代表する花のひとつであるグロリオサをはじめ、山から切り出した枝や流木など、土地の自然を感じられる素材を取り入れる予定です。

花の鮮やかさ、枝の力強さ、流木の表情を通して、海・山・川に恵まれた高知ならではの豊かな自然や生命力を表現したいと考えています。

日本華道連盟ならではの、流派を超えた見どころや魅力はありますか？

日本華道連盟には、拠点とする地域や歴史、表現の異なるさまざまな流派が集まっています。そのため、花材の選び方、枝葉の生かし方、空間のとらえ方などにもそれぞれの個性が表れ、バラエティに富んだ作品をご覧いただくことが大きな魅力です。

流派ごとの違いを楽しみながら、いけばな文化の幅広さや奥深さを感じていただければと思います。

『いけばなの知識がまったくない』という初めての方々が楽しめるポイントを教えてください!!

難しく考えず、まずは「きれい」「力強い」「好きだな」と感じるままにご覧ください。

花の色や形だけでなく、枝の動き、器との調和、色の取り合わせ、何もない余白にも注目していただくと、いけばなの面白さがより感じられると思います。

作品の前で少し立ち止まり、心に残る花を見つけていただければ嬉しいです。花と触れ合うひと時をぜひ楽しんでください。

いけばな「昔と今」
～塚越さん出演予定一覧～
▶いけばなライブパフォーマンス

- 日時／11月21日(土) 13:00～16:30
- 場所／地域交流センターMIARE!
- 参加費／入場料無料

◀詳しくはこちら



塚越 応駿 Tsukagoshi Oshun

群馬県高崎市と東京都新宿区を拠点とする「いけばな松風」四世家元。幼少より三世家元・塚越応鐘に師事。大学卒業後は英国でフラワーデザインを学び、帰国後は外資系ホテルで花装飾に携わる。和洋双方の感性を活かした創作を続け、2009年に副家元、2024年に四世家元を継承。国内だけでなく香港・フランス・オランダ・オーストラリアなど世界各地でパフォーマンスを行う。

日本いけばな伝統文化協会常任理事
一般社団法人日本華道連盟常任理事
群馬県華道協会副会長・事務局長
高崎市華道協会事務局長



— 心踊る、文化咲く —

第41回 国民文化祭
第26回 全国障害者芸術・文化祭

よさこい高知
文化祭2026

令和8年10月25日(土)～12月6日(日)